

“与信管理”で“一日為すあり” プロ意識と先見性で“用有り”

(唐の詩人李白)は「天我が材を生ずるは必ず用有り」と詠み、吉田松陰は「一日世に在れば一日為すあり」と気概を示した。孔子もまた「君子、一日世に生きれば世に利あり」と説いている。いずれも無為に一日を過ごすことを拒み、持てる

力を一日一日精一杯費やす事を念じ実践した時代の開拓者だった。企業も日常の業務を漫然と繰り返すのではなく、しっかりと志を持って時代に挑戦すべきだ。三井物産クレジットコンサルティング(株)代表取締役社長・松本和之氏)は、

2007年10月にそれまでのスーパーネット・ソリューションズ(株)とMBKクレジットソリューションズ(株)が合併して誕生した『三井物産』直系子会社。双方が培ってきた実績と特性を受け継ぎながら、さらにパワーアップしての新しい価値感と存在感のある会社を目指し、全社一丸となって研鑽を続けてきている。まさに“用有り”の使命と、“一日為すあり”のプロ意識、“世に利あり”の先見性こそ、同社の真骨頂とも言うべき“世に在る”経

営理念だ。信用格付等の与信関連情報をASP事業として提供するプロフェッショナル集団であり、また三井物産の関係会社向けに与信管理関連のコンサルティング業務や研修を担う正統派企業。一人ひとりの社員が持つ能力を100%活かし、より情報提供機能の効率化・多様化にも取り組んでおり伸展の中身も濃い。日々の業務は地味だが、与信管理という企業活動の心臓部にあって評価を高めている。中央区日本橋人形町1・14・8